

需要を拓く

押し商品

PPGジャパン

小物部品をバレル電着

PPGジャパン工業用塗料部は、既に海外において商品化していたフラスナー用バレル電着塗装(ELLE CTROPOLYSEAL II エレクトロポリシール)を2004年秋から日本市場で展開している。

エレクトロポリシールは、自動車や建設などの分野で使用されるフラスナーや小物部品をバレル(樽)の中に入れ、電着塗装するといった画期的な電着技術であり、世界で初めて電着塗料を商品化し、常にこの分野でリードしてきた当社が自信を持ってお奨めできる商品である。

また、EUV規格やRoHS指令等を踏まえた完全クロム・鉛フリー処

理の環境対応型で(電気電子機器にも使用可)、かつ高防錆力(電着塗装前に垂れ防止をかける)とさらに鉛めっきをかけることさらに向上)と良好な外観を得られることから注目を集めており、既に米国3大自動車メーカー(フォード・GM・クライスラー)から承認を受けている。

当社は、長年に渡るフラスナー産業への供給体制から得た知見をもとに、フラスナーや小物部品への前処理剤から電着塗料、関連サービスまでを含めた表面仕上げのトータルソリューションを提供できると自信している。是非、ご相談ください。

さて、エレクトロポリシールの中核をなすが、バレル処理専用電着塗料(POWERCRON II パワークロン)である。エポキシ系力チオン電着塗料のパワークロンXLと屋外仕様の部品等に適した耐候性のアクリル系力チオン電着塗料のパワークロンALを用意している。

色数もクリヤー・黒・赤・青・グレー・銅・銀と多色からなり、用途に応じた使い分けが可能である。近々、標準色を増やす予定である。

さらに、このバレル電着が持つ特長は、エッジの被覆性に優れ、複雑な形状部品にも均一な塗膜を確保でき、微小ネジもリセス・ネジ部が埋まることなく塗装できるほか、ネジ以外にも

ピンジヤブケットでも可能なことにある。

また、タッチマークも最小限に抑えられ、下地が露出することはほとんどない。摩擦係数は0.3と0.1の低タイプを用意している。

こうした実績と特長を武器に今後、日本市場においても本処理システムを重要な戦略商品として位置付け、積極的に市場開発を進めていく方針である。

今年5月には、愛知県刈谷市にデモ用バレルを設置するほか、大阪府東大阪市にも設置の予定を立てている。希望者には見学が可能となるので、是非ご覧いただきたい。本設備の導入により、50~80%の人工費削減に貢献できると考える。

☎03・3476・7015、<http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustryCoatingsJapan>

2005年(平成17年)4月13日



明日を拓く
需要開拓大作戦!

発行所
塗料報知新聞社
編集印刷発行人 有馬得之
本社 電話(03)3260-6111
東京都新宿区矢来町3番地
FAX (03) 3260-6116
振替口座 00170-5-196510番
関西支社 電話(06)6244-0601
大阪市中央区南船場3-3-27(サントピア)
FAX (06) 6245-4091
振替口座 00900-2-120509番
購読料1ヵ年(消費税込み) 19,950円
URL <http://www.cpi-media.co.jp/toryo/>

日本専門新聞
協会加盟紙
©塗料報知新聞社 2005